



# SSD ブースター

製品版／試用版共通マニュアル

manual version 2.2.000000

- Trim 非対応 PC の性能を Trim 対応の域まで向上します。
  - ・ XP, VISTA, 7, 8, 10 の速度劣化を防止します。
  - ・ Trim 非対応の RAID システムの速度劣化を防止します。
  - ・ Trim 非対応の SSD の速度劣化を防止します。
- Trim 対応 PC においては、SSD の内蔵コントローラの負担を減らし速度劣化を防止。
  - ・ SSD の内蔵コントローラの性能は機種により異なります。
  - 内蔵コントローラの負担を最小にし速度劣化を防止します。



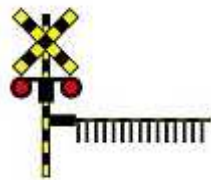
「SSD ブースター」はフリーウェアのデフラグソフト「MyDefrag v4.3.1」をエンジンとしたミドルウェアとして構築したものです。  
<http://www.mydefrag.com/>

「MyDefrag v4.3.1」の著作権はその作者の J.C. Kessels 氏に帰属します。J.C. Kessels 氏にはここに感謝の意を捧げます。

# 目次

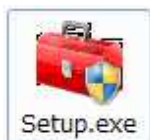
1. インストール.....	3
2. 操作方法・簡単な使い方.....	4
2.1. ディスク分析.....	5
2.1.1 構成状況分析.....	5
2.1.2 ファイルチェック.....	6
2.2. SSDをリフレッシュ.....	8
2.3. 自動リフレッシュ機能.....	9
3 便利な使い方.....	10
3.2 mydefrag でディスク解析.....	11
4. 機能詳細.....	12
5. Q&A.....	13

# 1.インストール

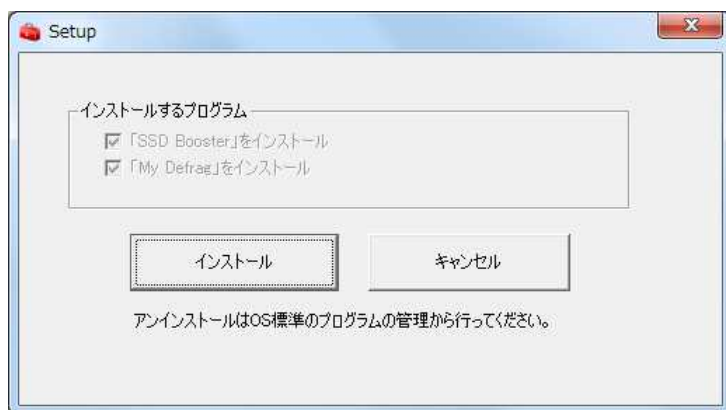


インストールにあたり、ウイルス対策ソフトの遮断を切ってください。  
ウイルス対策ソフトの遮断により発生する各種問題のテクニカルサポートはウイルス対策ソフトの販売会社に依頼してください。

本ソフト付属の Setup.exe がインストーラです。  
※PC の設定により.exe は表示しません。



本ソフト付属の Setup.exe がインストーラです。  
実行すると次の画面が出ます。

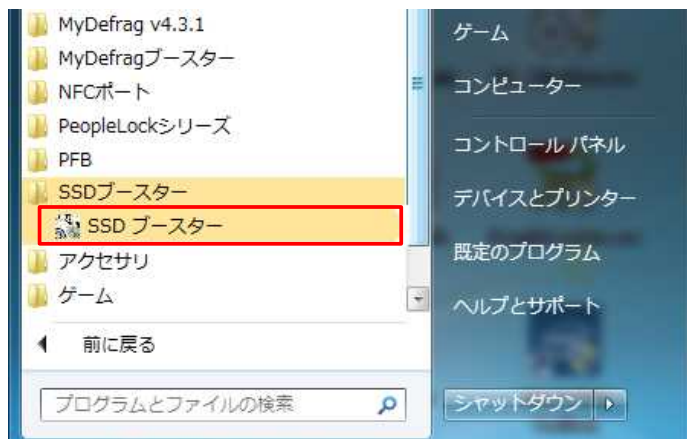


インストールはこの画面にて行います。  
案内に従って「次へ」で先に進んで下さい。  
※アンインストールは **Windows 標準の「プログラムと機能」**にて行います。

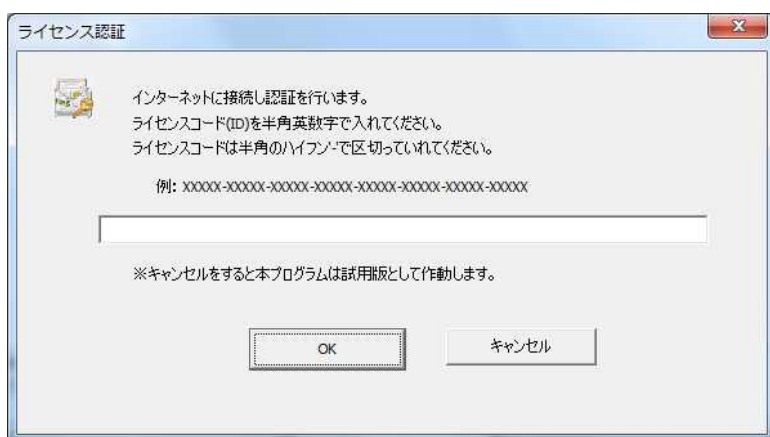
本ソフトは SSD をリフレッシュするソフトです。  
ここで言う「リフレッシュ」とはガベージコレクションの事を指します。  
以下本マニュアルでは「ガベージコレクション」と表記いたします。

## 2.操作方法・簡単な使い方

### 起動方法



スタートボタンもしくはデスクトップ上のアイコンから操作します。  
初回起動時、ライセンス認証画面が出ます。ネット接続して認証してください。



稀にプロキシサーバーを使用していると認証に失敗する事があります。この時は一時的にプロキシサーバーを使わず、直接ネットに接続してください。

ライセンス認証しないと試用版として作動します。

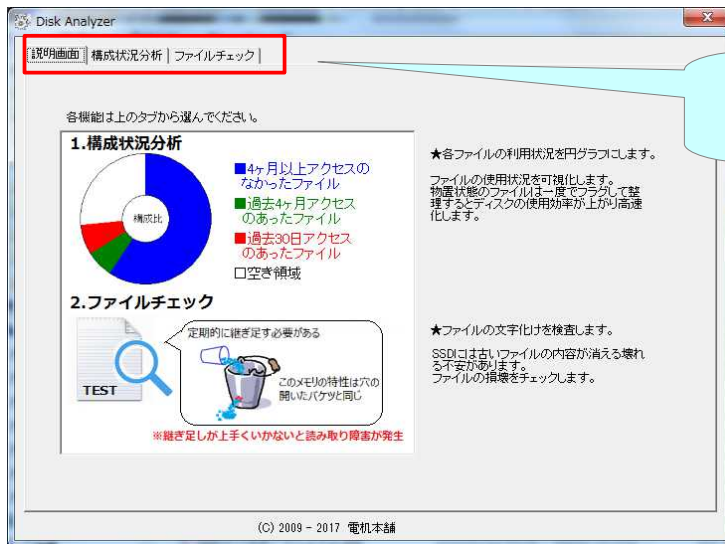
トップメニューを出すと用途に合わせた3つのボタンで簡単に操作ができます。



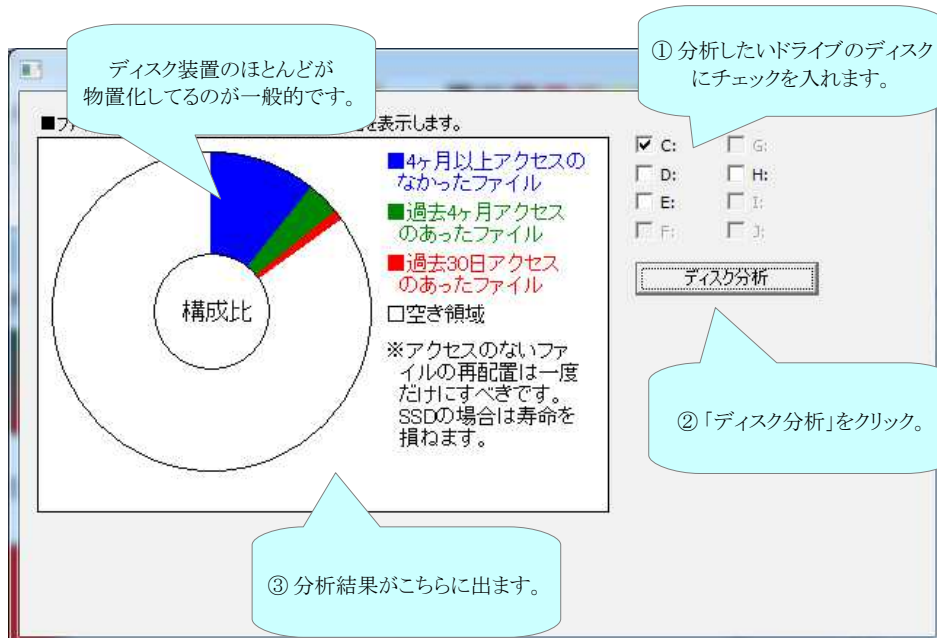
## 2.1. ディスク分析



ディスク分析のメイン画面が出ます。タブから機能を選択してください。



### 2.1.1 構成状況分析



トップメニュー真ん中のアイコンは「ディスク分析」の機能です。

ディスクの中で実際に使っているファイルの総量比率を計算します。  
ガベージコレクションをかけるタイミングをビジュアル化します。電気  
分析を掛けたいディスクにチェックを入れて、「ディスク分析」をクリックするだけで、アクセス率から  
見たディスクの構成比を表示します。  
上の図の緑と赤の領域だけ重点的に整理すべきファイルと判ります。

## 2.1.2 ファイルチェック



SSD を構成する NAND フラッシュメモリは小さな穴があいたバケツに例える事が出来ます。少しずつ電気が抜けます。従い定期的にリフレッシュする必要があります。一般的にはメーカーは SSD は有効寿命内では一年以上内容を保持を保障します。

**問題はリフレッシュに失敗すると古いファイルからデータが消えて行くという事です。**

本機能は、ディスクの全部のファイルのデータ消失をチェックします。

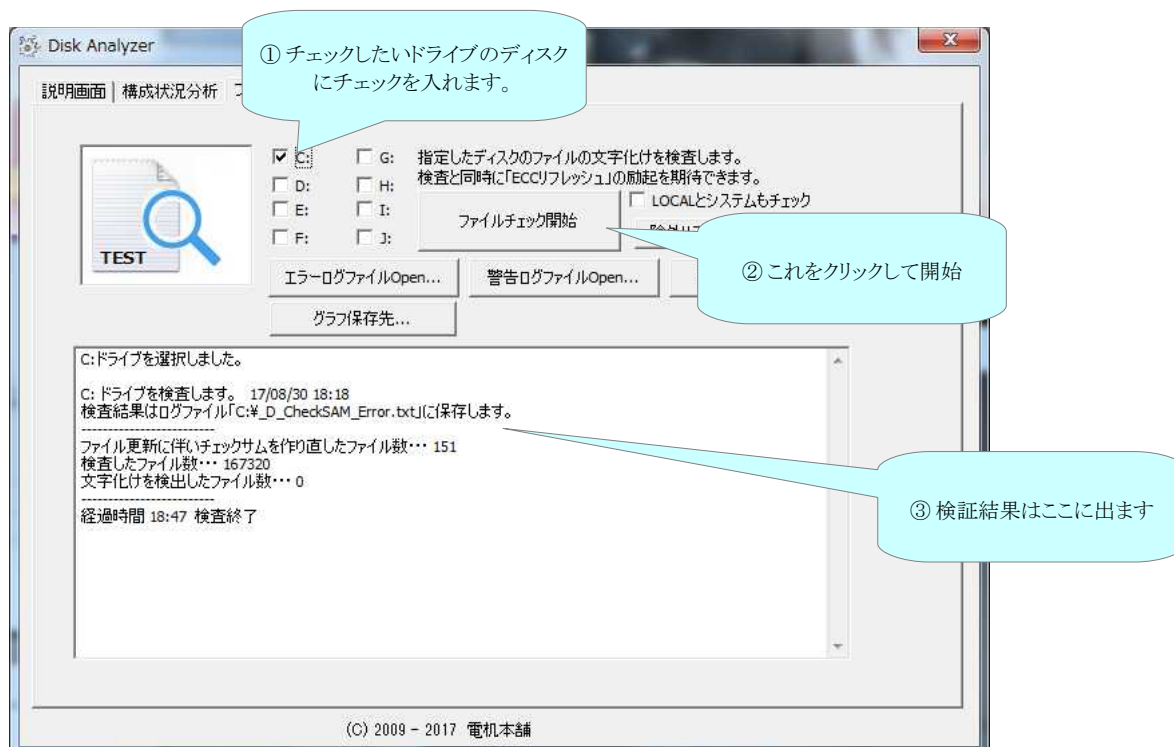
初回実行時はディスク上の全ファイルのチェックサム情報を作ります。チェックサムとはファイルの内容の一バイト毎の合計値です。

2回目以降はチェックサムと各ファイルを比較して一致を確認します。

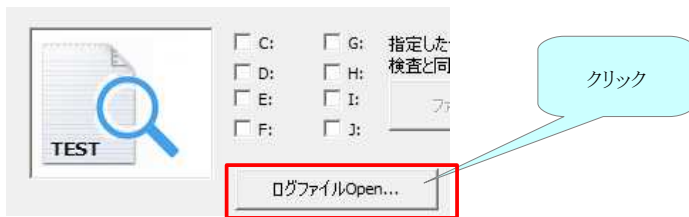
不一致の場合はそのファイルは壊れている事になります。**SSD の場合はこの検証と相性が良いです。**

- ① アクセスのない古いファイルをファイルチェックで読むため、電気が抜けている場合はリフレッシュを期待できるメリットがあります。少なくともデータ保持が良い方向に働く可能性が高いです。
- ② ファイルが壊れている場合はそれを検出します。

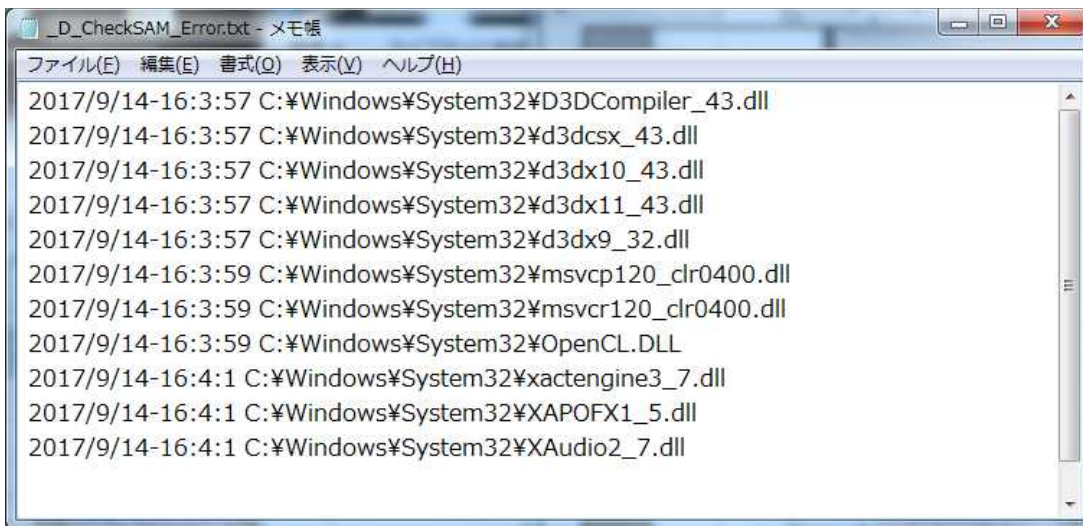
ファイルチェックは SSD を安心して使うための必須機能です。



## ■文字化けを検出した時の対処



するとこのように文字化けのあったファイルを保存したテキストファイルが出ます。



このファイルがタイムスタンプが変化していないにもかかわらず、内容が変化したファイルです。

Windows のシステムフォルダなど特定のフォルダの中のファイルは更新情報が変化せず中身が書き換わるファイルが多いように感じます。

### 🔄 対処その1.

ログにでたファイルをバックアップから復元してください。

これらのファイルはタイムスタンプは以前と同じですが内部が変わっているはずです。

### 🔄 対処その2.



ファイルの文字化けを検証するデータは検査したディスクのルートに \_D\_File\_Check という名前で保存しています。

このフォルダをゴミ箱に入れてください。その次回の検査でチェックサムを作り直します。

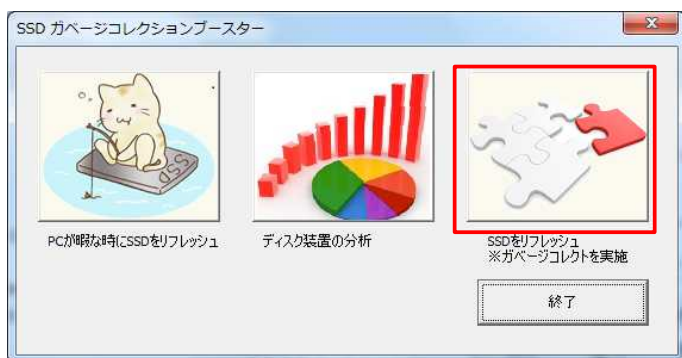
### 🔄 対処その3.

2017.9.13 日現在、Windows には幾つかの勝手に中身が変化するファイルが見つかっています。このフォルダは検査から除外する必要があります。弊社に連絡ください。

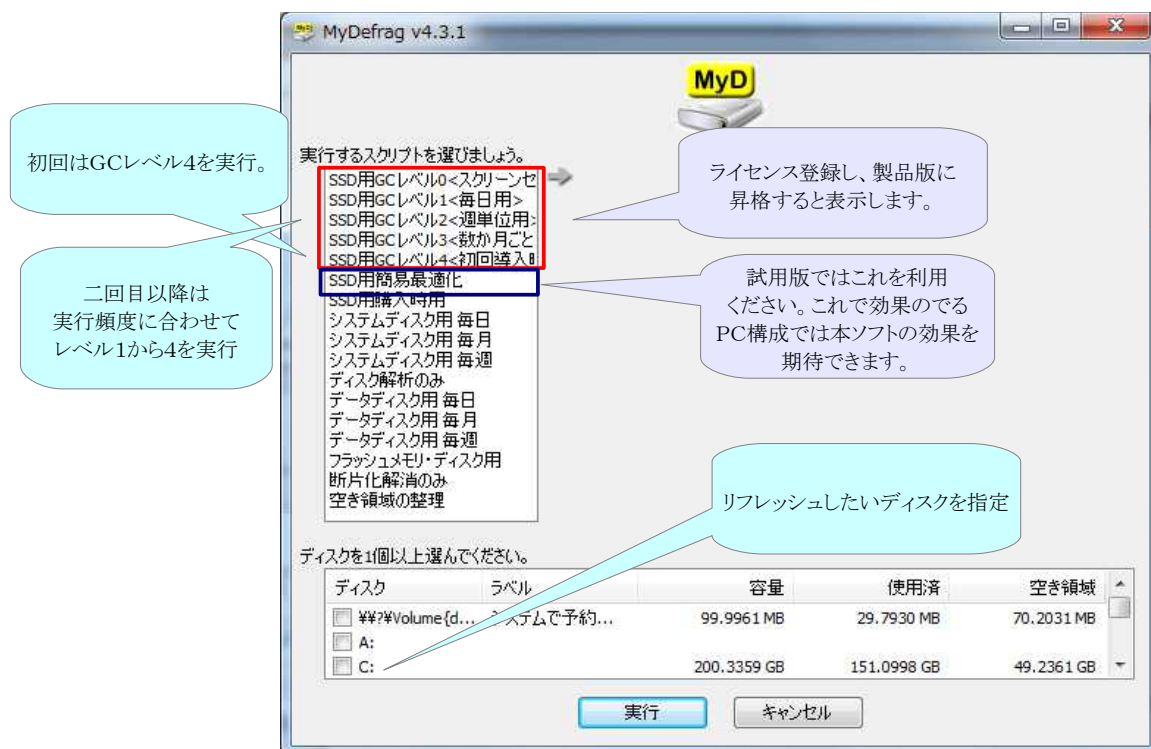
<http://dnki.co.jp/w2/2016/06/15/mail/#more-515>

および 2017.10 月に除外リストを強化したマイナーチェンジ版を配布します。

## 2.2. SSDをリフレッシュ



トップメニュー右のアイコンは「SSD のリフレッシュ」(ガベージコレクションを実施)の機能です。



手動でガベージコレクションを掛ける場合はこちらから操作いたします。

初回インストール時はまずGCLレベル4を1度お掛けください。

頻繁にGCLレベル4を掛けるとSSDの寿命を損なう恐れがあります。

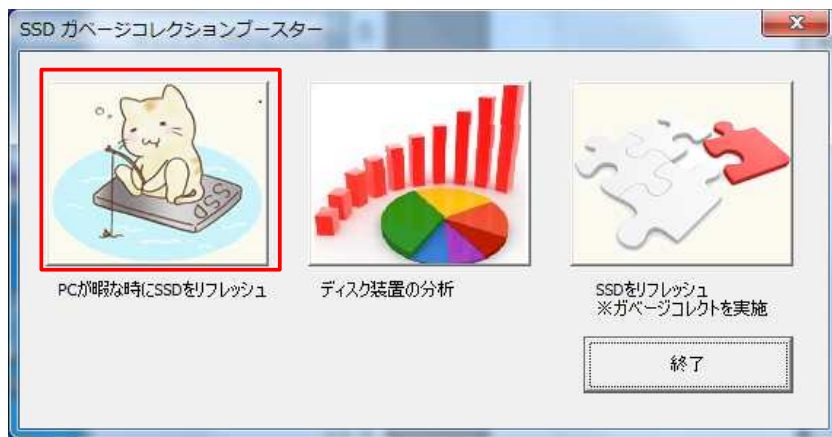
1度かけたら後は、自動実行を設定し放置を推奨します。以後、自動でメンテナンスします。

以降は手動でガベージコレクションを掛ける際はGCLレベル1から3でお掛けください。

- ・毎日掛ける場合はGCLレベル1
- ・毎週掛ける場合はGCLレベル2
- ・毎月掛ける場合はGCLレベル3
- ・自動実行をONにしているとGCLレベル0が自動実行します。



## 2.3. 自動リフレッシュ機能



トップメニュー左のアイコンは「自動リフレッシュ」の機能です。  
パソコンが暇な時に、自動的にリフレッシュします。



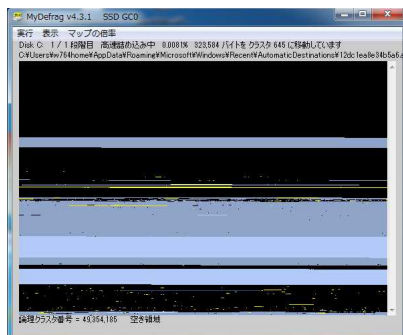
① まず自動実行する内容を選択ください。

※もしファイルの破損が毎回でる時は、このスイッチをONを検討のこと。破損を見地するとディスクのリフレッシュスキップします。これをONにするとリフレッシュも行います。

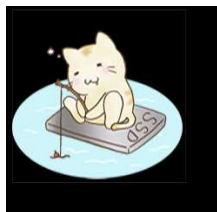
② これを押すと自動実行します。

② こちらはお好みでご利用下さい ONにすればアイドル化しやすくなります

■ 「自動実行」をONにすると、マウス、キーボードに加え CPU とディスクの使用率が15分の間低いとアイドル状態になります。



■ スクリーンセーバーの設定をONにすると、指定した秒数の間入力がないとスクリーンセーバーが作動し、SSD をガベージコレクションします。設定後、反映させるには **パソコンの再起動が必要です。**



一定時間操作が無いと  
スクリーンセーバーが起動し  
明示的にアイドル状態になります

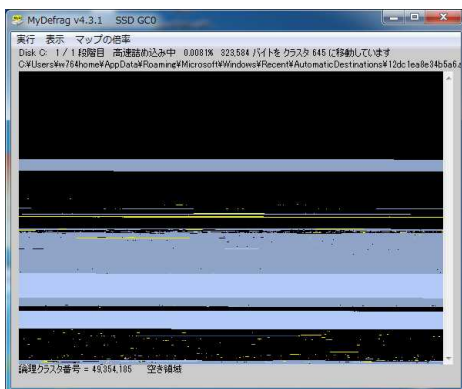


★ 2度かけ防止装置搭載★  
一度リフレッシュすると以後、  
7時間はリフレッシュしません

## 3 便利な使い方

### 3.1 アイドル状態の操作

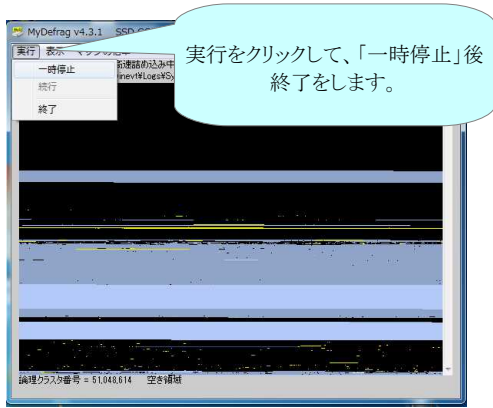
「自動リフレッシュ」の自動実行設定時にアイドル状態になると自動処理がかかります。  
ガベージコレクションを指定した場合は下記の画面が出ます。



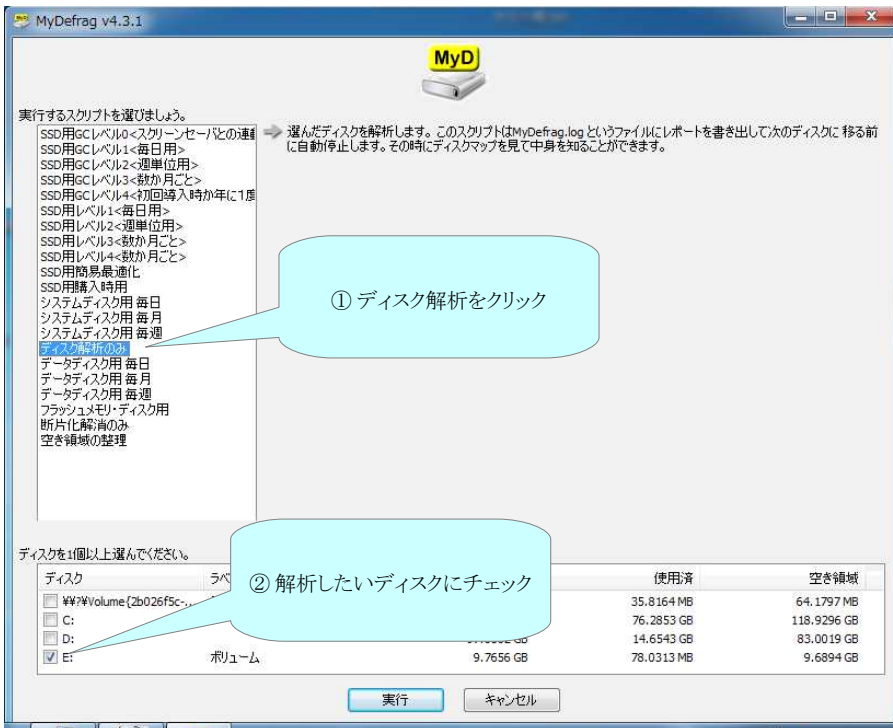
通常は数秒で終わりますが

OSの更新が掛かった後は、大量の断片化が発生します。  
この時、ガベージコレクションに時間が掛かる場合があります。

アイドル中にパソコンを操作をする場合は一時停止して終了ボタンをクリックして  
ガベージコレクションを終了させます。

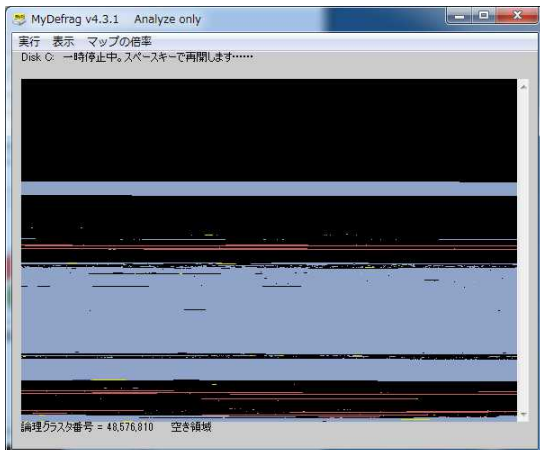


### 3.2 mydefrag でディスク解析



「SSD をリフレッシュ」の左の項目にある「ディスク解析のみ」を選択すると、ディスク内の断片化の状態を調べる事ができます。

実施するとこのような画面が出て、視覚的にチェックができます。終了する時はスペースキーで終了。



## 4. 機能詳細

ファイルチェックの画面の機能を説明します。

OSの仕様でファイルチェックに引っかけられるフォルダも検査を指定します。OSの仕様でファイルの更新情報を変えずに内容が変わるシステム系のフォルダが対象です。

OSの仕様でファイルチェックに引っかけられるフォルダも検査を指定します。OSの仕様でファイルの更新情報を変えずに内容が変わるシステム系のフォルダが対象です。

ファイルチェックの対象から外すフォルダ、ディレクトリを設定する機能です。

ファイルチェックでエラーが発生したファイルのログファイルを開きます。ログファイルは追記式ですので内容は自由に削除、消去できます。

指定したディスクのファイルの文字化けを検査します。検査と同時に「ECCリフレッシュ」の励起を期待できます。

LOCALとシステムもチェック

除外リスト設定...

ファイルチェック開始

エラーログファイルOpen... 警告ログファイルOpen... 詳細な説明...

グラフ保存先...

C:ドライブを選択しました。

内容は正常なのですが、アクセス速度が遅いファイルの岐路kを表示します。

ファイルチェックの時のグラフの画像データを保存しているフォルダを羅列します。

(C) 2009 - 2017 電機本舗

ファイルチェックのオプション画面を説明します。

ファイルの管理情報の読み取りにかかる時間を測定します。ここでは遅速の判定基準を指定します。

ファイルの読み取りにかかる時間を測定します。ここでは遅速の判定基準を指定します。

不可視属性をセットして視認できないファイル、フォルダも検査の対象にします。

Windows Updateに関連するファイル、フォルダも検査の対象にします。

ファイルの管理情報が遅いファイルを見つけたら、上書きを指定します。

ファイルの読み取りが遅いファイルを見つけたら、上書きを指定します。

ファイルチェック開始...

■Open速度の判定 1ms(推奨地)

■Read速度の判定 1MB(推奨地)

※Openとはファイルを開く事です。

隠れフォルダも検査する

OSの更新情報(C:\windows\SXS)も検査する

Openの遅いファイルを見つけたら自動的にリフレッシュするファイルと同じデータで上書きします。

Readの遅いファイルを見つけたら自動的にリフレッシュする

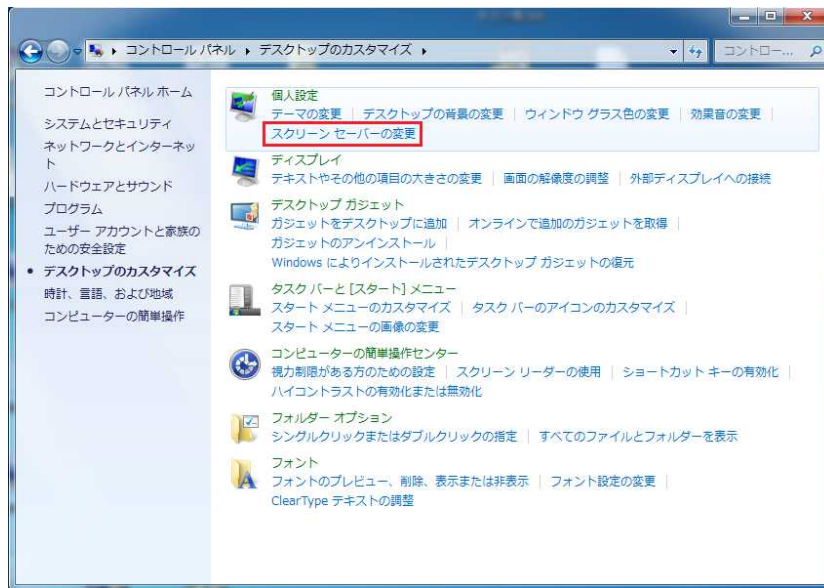
## 5. Q&A

Q.アンインストールするには？

A.コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」から行ってください。

Q.スクリーンセイバーがうまく起動しません

A.OSによってスクリーンセイバーの設定がうまくいかない場合があります。その場合はコントロールパネルを開いて、デスクトップのカスタマイズ等、パソコン本体の方でスクリーンセイバーの設定をして下さい。



## 開発元

本ソフトの OEM、カスタマイズなどを希望する方は下記にご連絡ください。

有限会社電機本舗

<http://www.dnki.co.jp/>

お問い合わせは上記 URL からできます。

東京都港区高輪1-2-16-フラットウェル高輪6A